



武蔵野

学校だより NO. 7
平成30年10月号
昭島市立武蔵野小学校
校長 岡部 操

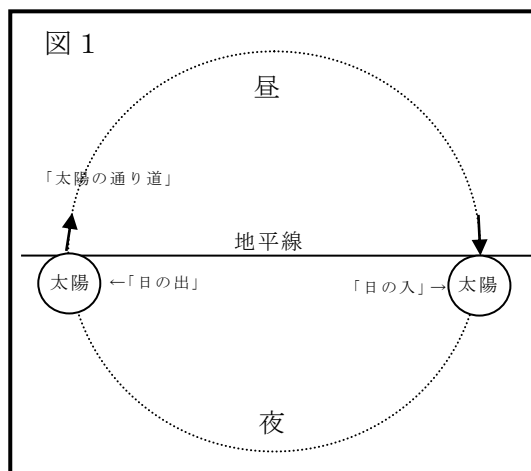
秋分の日を過ぎて

副校長 川上卓哉

いよいよ明日、9月29日（土）は「第45回運動会」です。今年度は天候に恵まれず、思うように運動会の練習や準備ができない状況もありましたが、子供たちは一生懸命に頑張ってきました。「第45回運動会」にぜひご参会いただき、輝く子供たちの姿をご覧ください。ご声援、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、9月23日「秋分の日」を過ぎました。今年は9月中旬を過ぎても気温が30度を超える日があり、なかなか実感は湧きませんが、季節はいよいよ秋から冬へ向かっていきます。

「春分の日」と「秋分の日」は、よく昼と夜の長さが同じと言われていますが、実際には昼の方が長いことをご存知でしょうか。これには主に2つの原因があります。一つは大気による屈折のためです。大気による屈折で、太陽の位置が実際よりも上に見えるので昼の方が長くなるのです。もう一つは「日の出」と「日の入」の定義です。図1をご覧ください。「日の出」は「太陽の上端部が地平線と接した瞬間」と定義されています。一方「日の入」も「太陽の上端部が地平線と接した瞬間」と定義されています。



もしも「日の入」が、「太陽の下端部が地平線と接した瞬間」と定義されれば「日の出」から「日の入」までの「太陽の通り道」の距離と「日の入」から「日の出」までの「太陽の通り道」の距離は全く同じになります。しかし、現在の定義では「日の出」から「日の入」までの「太陽の通り道」の距離の方が長く、つまり昼の時間が長くなります。こうした原因で、太陽がちょうど春分秋分の位置に来ていても昼の時間が長くなるのです。

しかしそうはいっても、日が沈み周囲が暗くなる「日の入」、つまり夜の時間は日々早くなっていきます。9月1日は午後6時9分に「日の入」でしたが、10月1日は午後5時26分に「日の入」です。また、11月1日には午後4時46分となります。

「日の入」の遅い夏の感覚が抜けきらないこの時期の夕暮れ時は大変に危険と言われています。子供たちは「日の入」後の暗い時間でも遊びがちです。自動車や自転車も前照灯の点灯が遅れがちになり、交通事故の危険性が高まります。早めの前照灯の点灯や反射用品等の着用、そして子供たちの早めの帰宅が重要です。

また、気温も一気に低下していきます。雨も多く体調管理がとても難しい季節となります。衣服や寝具を適切に調整していくことも大切です。

子供たちの安全や健康に気を付けて、季節の変わり目を上手に乗り越えていただければ幸いです。よろしくお願いします。